

金沢学入門2後期試験問題(2010/02/08実施)

(裏面の注意書きもよく読んでおくこと)

【設問1】 出題者 高原 利幸

JR北陸本線が現在の位置に敷設された理由を地盤工学的および都市計画的観点から述べよ。

【設問2】 出題者 小林 史彦

商人・職人の住宅として発展してきた町家は全国に広く見られ、その外観や平面形式などには一定の共通の特徴が見られる一方で、地域的な特徴もみられる。金沢の町家も北陸特有の気候や文化の影響の下で、独自の発展を遂げてきている。金沢の町家の建築的特徴を4つあげ、それらの特徴と気候や文化との関係について具体的に説明しなさい。

【設問3】 出題者 酒寄 淳史

- (1) 戸室火山と同様の噴火が、現在の角間キャンパス付近で発生した場合、どのような火山災害を想定する必要があるか。
- (2) 金沢市南部の七曲層中に見られる黒壁玄武岩には、日本海拡大当時の影響がどのような特徴として残されているか。

【問題4】 出題者 越田 曾登代

国際交流を進める上で、障害となる課題について、個人的レベルと国家的レベルから考察し、それぞれの改善に必要なことを、具体的に記述しなさい。

【設問5】 出題者 竹井 巖

金沢の位置する北陸地方には、その地理的条件によっていくつか特徴的な雪が降ります。

- (a) その特徴的な雪を1つを挙げて
- (b) その雪が降る理由を上述の地理的条件に関連させて簡単に説明しなさい。
- (c) また、あなたが回答したその特徴的な雪が大きく関与する、冬の金沢において観察される自然現象または話題となる出来事について具体的に述べなさい。

【設問6】 出題者 塚脇 真二

約2万年間という地質学的にみればごく短い時間ながらも、汎世界的な気候変動によって日本海はその海洋環境を大きく変えてきた。それにともなって日本海沿岸地域の陸上環境も大きく変化した。世界的な気候変動に日本海が敏感に反応することは授業で示したとおりである。そこで、日本海で今後予測される海洋環境変動について、環境変動の原因になりうると推定されるものを説明するとともに、それによって日本海の海洋環境がどのように変化するか、そしてその変化によって沿岸の人々の暮らしがどのように変わると推定されるかを、短期的(千年オーダー)なものと同期的(10万年オーダー)なものに区分したうえで、それぞれについて考察し記述せよ。

【設問7】 出題者 水野 昭憲

角間キャンパスにもツキノワグマやニホンカモシカが現れるようになった。イノシシやニホンザルが金沢の町近くに出没し、農業被害が出ている。これらの動物から種類選択し、接近している環境要因を分析し、短期的・長期的な保全対策を述べよ。

【設問8】 出題者 宮西 幹男

歴史、伝統、文化に培われた金沢は、全国でも先駆けて数多くの条例を導入したまちづくりが推進されている。暮らしだけの利便性を高めるだけの都市化、再開発ではない金沢のまちづくりの重要性を記述してください。

1. 授業時間に配付した資料及びノート・下書きメモ等は参照してよい。ただし、書物の類は不可。
2. 5回以上欠席した者は、後期試験の受講資格はない。
3. 欠席した先生の問題を選んではならない。(2回の担当講義うち1回だけ欠席した場合を含むので注意すること)
4. 答案提出の際の指示を守らなかった場合は、その程度に応じて減点する(はなはだしい場合は「不可」もありうる)ので、気をつけて提出すること。